

2025(令和7)年度 教育目標・目指す学校像

町田市立鶴川第一小学校
校長 小林 繁

* 鶴川第一小学校 教育目標

調和がとれた人格の形成、学び続ける力を身に付けた子どもの育成を目指し、次の目標を設定する。

◎やさしく ○かしこく ○たくましく

明治41年創立以来の歴史と伝統によって培われた校風を継承しつつ、この教育目標を達成するため、教職員の英知を結集し、学校経営を推進する。集団の中で学ぶ学校としての役割を果たし、社会生活する上で必要な力を児童に確実に身に付ける。そのために、全職員が一丸となり、保護者や地域等と連携・協働し、特色ある教育活動を推進する。

* 目指す学校像

「3S（Study：学ぶ喜び Safety：安心安全 Scrum：一丸となる）」をめざした学校
【学校に通う全ての児童の個性を認め、一人一人の力が発揮できるよう教職員が一丸となって研鑽を重ね、各職のプロとしての誇りをもって児童の教育に向かう。さらには、児童、保護者と日々心を通わせ、信頼関係を築いていくことに尽力する。】

- ① 6年間の学習を通し、自主・自立の力を身に付けられる学校
- ② 安心・安全で、だれにとっても居心地のよい学校
- ③ 互いを認め合い、高め合い、協力し合う学校

* 目指す児童像

- ① やさしい心もち、自分も他者も大切に子ども 【やさしく「人間関係形成力」】
- ② すすんで学び、考えながら、課題に取り組む子ども 【かしこく「問題解決力」】
- ③ 自分から心や体を鍛え、前向きに行動する子ども 【たくましく「実践力」】

* 目指す教師像

- ① 進みつつある教師 【仕事に厳しく、改善向上への意欲をもち、自己研鑽に努める教師】
- ② 明るく前向きな教師 【児童理解力・児童受容力・謙虚な姿勢を大事にする教師】
- ③ 協働して動く教師 【報告・連絡・相談・記録を確実にし、互いを尊重し協力し合う教師】
- ④ 服務事故ゼロへの強い意識をもつ教師 【教育公務員としての強い自覚をもった教師】

2025(令和7)年度 学校経営方針

I 社会に開かれた教育課程の実現

●目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と連携・協働して教育課程を実施する。

(1) 地域の環境及び人材を生かした体験的活動を企画し、実施する。

- ▶ゲストティーチャーや地域ボランティアを積極的に活用する。
- ▶地域と一体となって子どもたちを育むために、教育活動を周知し、意見交換を行う。

(2) 積極的な情報発信と公開を通して、教育活動への理解を深める。

- ▶学校だより等の通信、ホームページの更新などで保護者の安心できる情報を発信する。
- ▶保護者の気持ちに寄り添い、良好な人間関係のもとに、教育活動を公開する。

II 確かな学力の育成

●子どもが主体的に学び、授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と、思考力・判断力・表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。

(1) 授業をデザインする8つの取組、6つの選択肢を踏まえ、「分かる できる つくる 楽しい授業」を展開する。

- ▶個に応じた指導を徹底し、つまずきを取り除き、知識・技能を定着させる。
- ▶自分の考えを多様な方法で表現させ、協働的な学びを導入する。

(2) 学習への興味・関心を高め、子どもの「学び続ける力」を育てる。

- ▶充実した言語活動の指導の工夫を研究テーマとし、主体的に学びに向かう児童を育てる。
- ▶プロジェクター・クロームブックの活用を推進し、ねらいに応じてICTを活用できる力を育てる。

III 豊かな心の涵養

●多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。

(1) 生命を大切にする心や他人を思いやる心、規範意識等を育む。

- ▶人権を相互に尊重する姿勢を育て、いじめを絶対に見逃さない生活指導を徹底する。
- ▶道徳科の授業では「自己の振り返りの時間」を重視し、道徳的実践力を育てる。

(2) 児童の自己有用感を高め、人との関わりを通して自分も友達も大切にできる態度を養う。

- ▶委員会、クラブ、異学年交流活動、係活動など子どもの主体的な活動を重視する。
- ▶交通事故防止や不審者対応などの安全意識、ネットマナーなどを育成する。

(3) 支援を必要とする児童の早期把握、早期対応ができる校内体制を構築する。

- ▶全教職員「わかりやすい授業」「安心・安全に学べる学級」「困ったことを相談しやすい学級の雰囲気」などの基礎的な環境整備を整えた上で、必要な個別の配慮や支援を行う。

IV 健やかな体の育成

●正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける。安全指導・安全教育を充実する。

(1) 運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図り、基礎体力の向上を図る。

- ▶体力テストの結果分析を生かした体育科の授業を実施し、運動の日常化を行う。
- ▶家庭と連携して、生活リズムの定着を図り、健康教育と食育を推進する。

(2) 安全な環境を整備し、自分や他者の命や心身を守る力を育成するための全校体制を徹底する。

- ▶「鶴川第一小 生活のきまり」の約束を守って生活できるように全教職員が連携して指導する。
- ▶避難訓練を計画的に実施し、いざというときに適切な行動をとることができる力を育てる。
- ▶子どもたちが自身の安全を守るとともに、他者や社会の安全に貢献できる力を育てる。